広報
第951号

いながわ

11月
平成30年

元気いっぱい!秋空の下グラウンドゴルフ(町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会、詳細31ページ)

特集 猪名川町の未来を描く 高校生フォーラム
～あなたがもし猪名川町長だったら～

～11月は児童虐待防止推進月間～
「地域みんなで守ろう!子どもたちの笑顔」 8
猪名川町の実は…え!?ホンマ!?
危険ブロック塀の撤去を補助します! 19
しまった・こまった・たすかった
お稽古・習いごとなどの契約にご注意 !! 25
瞬(ときめき) 西村 健さん 26
私のオススメ☆
頼光伝説と清水の水神さん 27
いながわ特派員報告
こだわりいっぱい!い～な、学校給食 28

美味しい秋、み～つけた!(原)

特集

猪名川町の未来を描く 高校生フォーラム

～あなたがもし猪名川町長だったら～

皆さんは、自分たちが住むまちの良さや魅力について考えたことはありますか？

本町では未来の猪名川町を担う子どもたちに、まちのことを知り、考えてもらうきっかけとなるよう、平成 28 年度より「猪名川町の未来を描く高校生フォーラム（以下「高校生フォーラム）」を実施しています。

今号では、高校生フォーラムと昨年度町長賞に輝いた２チームの取り組みを紹介します。

第３回高校生フォーラムに向けての検討や資料作成の様子

高校生フォーラムとは

今年で3回目となる「高校生フォーラム」は、町内の高校生が、「あなたがもし猪名川町長だったら」をテーマに、町をよくするための政策提案を行います。

なかでも、町の活性化に向けて効果的で、特に優れていると評価した提案には「町長賞」を贈り、実現に向けて町がバックアップします。

これまで２回開催した高校生フォーラムの中から、昨年度（第２回）、初の町長賞が誕生。今年度、提案事業の実現に向けて取り組みました。

ふるさと愛を育むために

この事業は、人口減少や高齢化などに伴う課題解消に向けた「地域創生」の取り組みのひとつで、若者の町外流出に歯止めをかけようと、若い世代に本町の自然や歴史資源など、多くの魅力を知ってもらい「ふるさと愛」を育むことを目指しています。

高校生フォーラムに関わった子どもたちが、進学などで一旦町外で暮らすことになっても、将来的には「ふるさと いながわ」に戻り、「猪名川町に住み続けたい」と思ってもらうためのきっかけになればと考えています。

第２回 高校生フォーラム

町長賞受賞チーム

昨年11月に文化体育館で実施した「第2回高校生フォーラム」には、県立猪名川高等学校（以下「猪名川高校」）と猪名川甲英高等学院（以下「猪名川甲英」）から計7チーム40人が参加。観光や教育、福祉、文化、農業などの政策提案を行いました。

発表提案の一部をご紹介

◆老後も安心猪名川町◆

本町が、男女ともに平均寿命が県下1位（平成27年国勢調査結果など参考）であることに着目。「町内のお年寄りにいきいきと過ごしてもらいたい！」という想いから、本町にまつわるオリジナルカルタを作成し、高齢者と高校生とが一緒に楽しむことで、元気に過ごしてもらうことが出来ないか、と提案。

◆えーとこいっぱいな猪名川町◆

町北部に位置する阪神地域最高峰の「大野山（おおやさん）」。「若い世代にも足を運んで欲しい！」との想いから、大野山頂を恋愛スポットとしてＰＲしてはどうか、と提案。

▲第２回高校生フォーラムで、町長賞を受賞した「猪名川高校　１組６班（左）」と「猪名川甲英　共に成長していく猪名川甲英チーム（右）」。両チームの提案と実現に向けた活動の様子を、次ページで紹介します。

みんなが真剣に考えた まちのこと

参加者全員で記念撮影

猪名川町を満足してもらう「猪名満」を作りたい！

～町長賞～「満足の町 猪名川」

猪名川高校　1組6班

100年後も残る阿古谷を目指して

～町長賞～「阿古谷が阿古谷であるために」

猪名川甲英　共に成長していく猪名川甲英チーム

生徒の想いを聞く

Q. 今回の提案について

近年、阿古谷地区（上阿古谷＝約130人・下阿古谷＝約80人・民田＝約60人・猪名川荘苑＝約640人）は人口減少が進み、特に65歳以上の人口は約40％と高齢化率が高く、このままでは将来なくなってしまう集落も出てきてしまうのではないかと心配しています。そこで、「自然豊かな阿古谷地区の魅力を発信することで、阿古谷を訪れる人を増やしたい」と考え、Nature（自然）・Human（人との交流）・Culture（伝統文化）をキーワードにグリーンツーリズム（※）による阿古谷地区の活性化が出来ないか、と提案しました。

※グリーンツーリズム…緑豊かなまちで自然や文化、人との交流を楽しむ余暇活動のこと

Q. 第一弾「ホタルと星空かんしょうinあこたに」について

今年の6月にNature（自然）、Human（人との交流）をキーワードに「ホタルと星空かんしょうinあこたに」を開催しました。地域の人たちと協力し、星空ピザの販売や、僕たちが案内役となり、暗やみの中で光を放つホタルを観察する「ホタルツアー」を実施しました。また、次世代に自然を残していくために、ホタルを捕まえないことやライトを当てないなど、鑑賞マナーの啓発も行いました。800人以上の人に訪れていただき、イベントは大成功だったと思います。

Q. 第二弾「獅子舞復活」について

Culture（伝統文化）をキーワードに阿古谷地区の伝統行事に着目したところ、担い手不足により60年以上前に途絶えた上阿古谷地区の獅子舞があることを知りました。そこで、「僕たちに当時の舞を再現することはできないか」と考え、地域の方に相談しました。その結果、地域の皆さんにも協力いただけることになり「獅子舞復活」に向けて動き始めました。

最初は、獅子頭の持ち方すらも知らなかった僕たちですが、当時の舞を知る地域の方たちが、丁寧に指導してくださいました。練習を重ねるなかで、「まつりで舞ってみるか?」と言っていただき、先月行われた上阿古谷の大歳（おおとし）神社の「秋まつり」では、地域の人たちを含む約100人の前で披露することができました。本番は緊張しましたが、楽しみながら精一杯舞うことができました。

▶上阿古谷自治会の皆さんによる、獅子舞の指導

Q. 高校生フォーラムを通じての感想や、今後について

今回の高校生フォーラムを通じて、地域の人たちとの関わりを深めることができ、嬉しかったです。

なかでも獅子舞は、多くの人に観てもらい、とても喜んでいただくことができたので、頑張って良かったと思いました。これからも練習を続け、「獅子舞復活」から「獅子舞伝承」につながればと思います。

この取り組みが続き、阿古谷地区に住みたいと思ってくれる若い人が増え、100年後も豊かな自然や伝統を守り続けられればいいなと思います。そして阿古谷の盛り上がりが、猪名川町全体に広がれば嬉しいです。

生徒の想いを聞く

Q. 今回の提案について

町の事を色々と調べる中で、「猪名川町の知名度って低いのでは?」と感じました。特に町には、そば・椎茸・猪肉などの特産品がありますが、手にとって気軽に食べてもらうことができる特産品が少ないと感じました。そこで、オリジナル肉まん「猪名満」の商品化を提案しました。「猪名満」には、町に訪れた人が手軽に食べて、「猪名」川町を「満」足してもらいたいという想いが込められています。

Q. 「猪名満」の開発について

ジューシーな食感が出るように、具の中には町内産の寒天を使用しています。

試作品を作った時、肉まんの具の水分量が多くて上手く包めなかったり、寒天を煮詰めるときにすぐ固まってしまったり、薄味だったりと、なかなかおいしくできませんでした。料理研究家の程（ほど）一彦（かずひこ）さんに協力いただき、「具の水分を減らすためにはパン粉をいれ、寒天を出汁で味付けした出汁寒天を刻んで入れると良い」など、具体的なアドバイスをいただき、試行錯誤の末、完成しました。完成品を、高校の先生に試食してもらい「めっちゃおいしい!」と言われた時は、販売に向けての自信につながりました。

Q. 「猪名満」の販売について

先月行なわれた、宝塚北SA「ひょうご北摂観光アンテナショップ」で初めて「猪名満」の試食・販売を行いました。約200個の「猪名満」が売れ、お客さんが美味しそうに食べている姿を見て、商品化された実感がわき、驚きと嬉しさが込み上げてきました。

Q. 高校生フォーラムを通じての感想や、今後について

提案の段階で何度もメンバーで話し合いを重ね、発表の練習をしたりと大変でしたが、みんなで協力することでメンバーの絆が深まりました。はじめは「猪名満」が商品化されるとは誰も思っていなかったので、今でも信じられない気持ちでいっぱいです。これからも、多くの人に食べていただき、猪名川町のことを知ってもらえるきっかけになればと思います。

「猪名満」完成!!

「猪名満」は、「いながわ名物品」に認定されました！道の駅いながわで土・日限定で販売しています！1個180円です。ぜひ食べてみてください♪

皆さんに満足してもらえるよう何度も試作を重ねた「猪名満」

しながわまつり

～ひとつながり きずな広がる 猪名の里～

ときと　**11月3日（土・祝）**
午前10時～午後4時
（雨天決行）

ところ　**総合公園・文化体育館・生涯学習センター**

【屋外の部】

芝生広場（63団体）＝模擬店、フリーマーケット、野菜の即売など　**その他（5団体）**＝一般団体発表、献血など

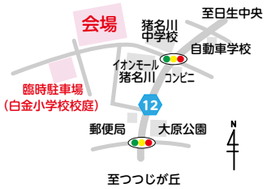
時間	ステージ
10：00	開会
10：10	☆なおちゃん＆着ぐるみショー☆
10：50	和太鼓演奏「なかよし太鼓○B会」
11：15	よさこい鳴子踊り「NISSEI 乙女」
11：40	快盗戦隊ルパンレンジャー VS 警察戦隊パトレンジャーショー
12：20	開催あいさつ、テーマ採用者授賞式、秋季農林産物品評会表彰式
13：05	☆なおちゃん＆着ぐるみショー☆
13：45	太鼓演奏「猪名川源流太鼓」
14：15	バトントワリング「スターバトンクラブ」
14：40	ゴスペル「イナガワゴスペルクワイヤー」
15：05	快盗戦隊ルパンレンジャー VS 警察戦隊パトレンジャーショー
16：00	閉会

【屋内の部】

展示の部（33団体）＝絵画・書道・盆栽などの作品展　**発表の部（16団体）**＝舞踊、ダンス、コーラス、楽器演奏など　その他＝歯科検診など

【いながわまつり臨時専用バス（無料）】

臨時駐車場（白金小学校）は台数に限りがあるため、専用バス、公共交通機関を利用ください。専用バスの詳細はホームページ
※周辺の店舗や道路への駐停車はご遠慮ください



▶**問合せ**　同まつり実行委員会事務局
屋外の部＝参画協働課（☎766－8783）
屋内の部＝文化体育館（☎766－7400）

第3回 高校生フォーラム

私たちの提案を会場で聴いてください！

▶とき　**11月20日（火）**
午後2時～（開場＝1時30分）
▶ところ　**文化体育館小ホール**
▶**その他**　参加費無料、申し込み不要

今年も猪名川高校と猪名川甲英の生徒たちが、町について学び、より良いまちづくりのための提案に向け、日々奮闘中。ぜひ会場へお越しください。
▶**問合せ**　企画財政課（☎766－8711）

子どもたちは猪名川町の宝物

これまで高校生フォーラムに関わった子どもたちが「町長の視点」で一生懸命に考えてくれた提案は、いずれもとても魅力的でした。なかには、町長賞に選出されず、悔し涙を流した子もあったと聞き、本気で取り組んでくれた姿勢に、嬉しさとともに頼もしさも感じます。

昨年、町長賞を受賞した「満足の町猪名川」は、多くの人たちに「猪名川町を満足してほしい」という熱い想いを、美味しくて気軽に食べることのできる肉まんに詰め込み、新しいまちの魅力を作り出してくれました。もう一つの町長賞「阿古谷が阿古谷であるために」は、地域の皆さんにも協力いただき、イベントや獅子舞の復活という形で地域を盛り上げてくれました。

この2チームに限らず、フォーラムに関わった子どもたちは、一つの目的に対してチームで真剣に向き合った経験が、これからの財産となっていくでしょう。そして、そのような経験を持つ子どもたちは、本町のまちづくりに欠かすことのできない宝物です。

現在、今年のフォーラムに向け、多くの子どもたちが頑張ってくれています。今年もまた、素晴らしい提案を楽しみにしています。

福田 長治町長

12月3日～9日は障害者週間

町障害者自立支援協議会 啓発セミナー

いながわで暮らしたい
～みんなで支える
わたしたちのまち～

▷**とき**　11月23日（金・祝）午後1時から
▷**ところ**　文化体育館（小ホールなど）
▷**内容**　①講演「この娘がいたから」山中 信彦さん（篠山市障がい者短期入所施設 みずほの家）　②障がい当事者のみんなの代表による音楽や作品の発表
※障がい者施設による物販コーナーあり
▷**参加費**　無料

▷**問合せ**　福祉課（☎766－8701）

家族の命を守るために
家の耐震化を！
～住宅耐震補助金のご利用を～

阪神・淡路大震災で倒壊した家屋

地震の発生に備えて

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、住宅などの倒壊により多くの尊い命が犠牲となりました。大きな地震の発生に備えて、旧耐震基準による建物は耐震化が必要です。まだの場合は補助対象になる場合がありますので、家族の命を守るために、ぜひ耐震化を行いましょう。

まずは「簡易耐震診断」

町では県の登録業者による、簡単な住宅の耐震診断を無料で実施しています。まずは簡易耐震診断を受診し、建物の耐震強度を把握しましょう。受診できるのは次の条件を満たす住宅です。

①昭和56年5月31日までに建てられた住宅（昭和56年6月に建築基準法による耐震基準が強化されたため）
②過去に実施した、「わが家の耐震診断推進事業」で耐震診断を受けていない住宅
③違反建築物でない住宅
※年間の件数制限あり

耐震診断の結果

評点0.7未満	評点0.7以上1.0未満	評点1.0以上
危険	やや危険	安全

危険と判定された場合は…

簡易耐震診断を受診し、危険またはやや危険と診断された場合、住まいの耐震化を検討してください。改修方法の相談も診断員がお答えします。

住宅耐震化促進事業のご利用を！

簡易耐震診断の結果、危険またはやや危険と診断された住宅の耐震化を行う場合、所有者の所得に応じて補助金が支払われます。補助金の額や割合などは、改修の内容により異なるため、詳しくは町ホームページまたは都市政策課まで。
▽**問合せ**　同課（☎766・8704）

昭和56年5月31日までに建てられた家屋は簡易耐震診断の受診を

～11月は児童虐待防止推進月間～

「地域みんなで守ろう！子どもたちの笑顔」

子どもたちの無邪気な笑顔…自然と顔がほころんで、優しい気持ちになりますね。いつまでもその笑顔を守り続けたいと願う一方で、児童虐待のニュースが後を絶ちません。子どもたちの笑顔を守るために、私たちにできることをこども課の担当者に聞きました。

こども課
平井 京子副主幹

増加する児童虐待

皆さんは、笑顔いっぱいに走り回る子どもたちの中に、「あれ？」と思う子をみかけたことはありませんか？そんな時は、少し気にかけてあげてください。児童虐待は、皆さんの周りでも起きているかもしれません。

平成30年上半期に、児童虐待の疑いがあるとして警察から児童相談所に通告した18歳未満の子どもの数は、全国で過去最多の約3万7千人（前年同期比約7千人増）。なかでも、「暴言を浴びせるなどの心理的虐待」が約2万7千人と最も多く、うち6割超が子どもの前で配偶者に暴力を振るったり、暴力的発言をするなどの「面前DV」だったと報道されました。

猪名川町の相談件数

平成29年度の本町の延べ相談件数は、1768件、うち「児童虐待に関する相談（疑いも含む）」は1313件。養育困難家庭や通報件数は年々増加しています。これは、関係機関などがより深く養育困難家庭に介入できていること、また、これまで水面下にあった虐待事案が、地域の皆さんや関係機関からの通報により増えてきたことで表面化した、意味のある増加だと捉えています。

最近の子育て事情

最近の子育ては、インターネットの普及により様々な情報が得やすくなっている反面、子育ての悩みを一人で抱え孤立化する傾向にあります。また、親が精神的に不安定であったり、子どもの発達に課題があるなどの理由で、子育てがスムーズにいかない状況に陥っている場合もあります。このようなことから孤立感や不安感・ストレスなどが高まり、子どもに対する暴力や暴言などの虐待や育児放棄（ネグレクト）につながるケースもあり、対策が必要となっています。

出来るだけ早い段階で、親の「困り感」を取り除き、安定した精神状態を保ち、その子どもに合わせた適切な子育てを行うことができれば、子どもは親の元で健全に育つことができると考えています。

地域全体で子育てしよう

現代は、核家族化が進み、地域との関わりも希薄になってきているといわれています。しかし、大切な子どもたちを地域のみんなで育て、社会全体で支えていくことはとても重要なことです。お住まいの地域で子育てに奮闘されているご家庭があれば、温かく見守り、応援してください。

「おかしいな」と思ったら

気になるお子さんがいれば、匿名でも構いませんので、こども課などに連絡してください。警察や関係機関と情報を共有し、必要な対応を行います。実際に、「念のため…」と、いただいた通報が虐待を防ぐことにつながったケースもあります。

通報は、困っている家庭を救う支援のひとつの手段です。あなたの勇気が、大切な命を救うことにつながるかもしれません。ぜひ、皆さんのご協力をお願いします。

▼こども課＝☎767・7477（児童虐待に関する相談・通報、子育て相談、ひとり親家庭相談）
▼川西こども家庭センター＝☎756・6633（子どもの発達や障がいなどの相談、児童虐待に関する相談・通報）
※通報者の秘密は守られますのでご安心ください

【周囲の人のチェックリスト】

身の周りで次のようなことに気づいたら相談（通報）を！

- □ 子どもをしかりつける声や泣き声が頻繁に聞こえる
- □ 子どもの身体に、不自然な傷痕や打撲によるあざがある
- □ 子どもだけで夜遅くまで遊んでいる
- □ 家に帰りたがらない
- □ 子どもの服や体がいつも汚れている　など